



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年1月31日

上場会社名 カーディナル株式会社
 コード番号 7855 URL <https://www.cardinal.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 弘直
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 宮家 正行
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6934-4141

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	869	3.7	19	55.2	27	49.5	11	77.0
2019年3月期第3四半期	838	0.4	43	17.7	54	14.4	50	21.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	5.73	
2019年3月期第3四半期	24.87	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	2,967	2,316	78.0	1,137.74
2019年3月期	3,055	2,326	76.1	1,142.71

(参考)自己資本 2020年3月期第3四半期 2,316百万円 2019年3月期 2,326百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		7.00		7.00	14.00
2020年3月期		7.00			
2020年3月期(予想)				7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,186	2.0	50	46.1	58	45.0	35	58.9	17.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	2,143,000 株	2019年3月期	2,143,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	107,245 株	2019年3月期	107,245 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	2,035,755 株	2019年3月期3Q	2,035,755 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.2.「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢は緩やかな回復基調で推移いたしました。不安定な海外情勢の動向や消費税率の引き上げに対する心理的影響なども懸念され、景気の先行きは不透明な状態で推移いたしました。

このような状況下において当社は生産部門と営業部門との連携によりきめ細やかな生産管理を行い、原価意識をもって社内生産の拡大と設備稼働率の向上を図りコスト削減と品質向上に努めてまいりました。さらには、安定的な収益を確保するためには販売代理店の確保が最重要課題であるとの認識のもと、印刷関連の展示会への出展などのより新規販売代理店の確保を推進し、既存の販売代理店に対してはインターネット（Web）上でのCard Market.jp（サテライトオフィス）により最新情報やサービスを迅速に解り易く提供し、また、カードにAR（tARget ARアプリ）を付加したサービスなどによりさらなる関係強化に着手してまいりました。しかしながら、当社が得意とする小ロット・多品種分野において価格競争に巻き込まれ、収益性の低い受注の比率が増加したこともあり経営環境は厳しい状況で推移いたしました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高が869,938千円と31,134千円（前年同期比3.7%増）の増収となりましたが、営業利益では19,705千円と24,245千円（前年同期比55.2%減）、経常利益では27,401千円と26,904千円（前年同期比49.5%減）、四半期純利益では11,663千円と38,965千円（前年同期比77.0%減）の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期末の流動資産は、受取手形及び売掛金が46,762千円減少したこと等により、前事業年度末に比べて57,784千円減少し1,739,551千円となりました。固定資産は、機械及び装置が29,483千円減少したこと等により、前事業年度末に比べて29,415千円減少し1,228,308千円となりました。この結果、資産は前事業年度末に比べて87,199千円減少し2,967,859千円となりました。

(負債)

当第3四半期末の流動負債は、未払金が120,629千円減少したこと等により、前事業年度末に比べて97,001千円減少し302,149千円となりました。固定負債は、役員退職慰労引当金が26,187千円減少しましたが、長期借入金39,660千円増加したこと等により、前事業年度末に比べて19,912千円増加し349,546千円となりました。この結果、負債は前事業年度末に比べて77,089千円減少し651,695千円となりました。

(純資産)

当第3四半期末の純資産は、利益剰余金が16,837千円減少したこと等により、前事業年度末に比べて10,110千円減少し2,316,164千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期業績予想につきましては、2020年1月28日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、売上高1,186,000千円、営業利益50,000千円、経常利益58,000千円、当期純利益35,000千円を見込んでおります。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,306,682	1,299,085
受取手形及び売掛金	311,162	264,399
電子記録債権	47,785	47,275
商品及び製品	52	52
仕掛品	54,812	59,667
原材料及び貯蔵品	65,115	65,908
未収還付法人税等	8,613	-
その他	5,984	5,655
貸倒引当金	△2,871	△2,493
流動資産合計	1,797,335	1,739,551
固定資産		
有形固定資産		
建物	963,594	965,504
減価償却累計額	△740,880	△750,946
建物（純額）	222,713	214,558
機械及び装置	1,123,905	1,147,324
減価償却累計額	△820,561	△873,463
機械及び装置（純額）	303,344	273,860
土地	272,988	272,988
その他	169,360	181,331
減価償却累計額	△153,645	△160,807
その他（純額）	15,715	20,524
有形固定資産合計	814,761	781,931
無形固定資産		
その他	3,794	3,762
無形固定資産合計	3,794	3,762
投資その他の資産		
投資有価証券	154,782	157,775
保険積立金	184,758	188,110
繰延税金資産	96,438	93,541
その他	3,380	3,412
貸倒引当金	△193	△225
投資その他の資産合計	439,166	442,613
固定資産合計	1,257,723	1,228,308
資産合計	3,055,059	2,967,859

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	176,461	167,425
短期借入金	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	46,829	55,992
未払金	135,576	14,947
未払法人税等	619	6,400
賞与引当金	13,900	4,800
その他	15,764	42,584
流動負債合計	399,151	302,149
固定負債		
長期借入金	80,356	120,016
再評価に係る繰延税金負債	2,366	2,366
退職給付引当金	161,728	168,168
役員退職慰労引当金	84,261	58,073
資産除去債務	921	921
固定負債合計	329,633	349,546
負債合計	728,784	651,695
純資産の部		
株主資本		
資本金	323,200	323,200
資本剰余金	100,600	100,600
利益剰余金	2,043,835	2,026,997
自己株式	△43,010	△43,010
株主資本合計	2,424,624	2,407,786
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△19,409	△12,681
土地再評価差額金	△78,940	△78,940
評価・換算差額等合計	△98,349	△91,622
純資産合計	2,326,274	2,316,164
負債純資産合計	3,055,059	2,967,859

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	838,804	869,938
売上原価	583,804	647,912
売上総利益	254,999	222,026
販売費及び一般管理費	211,048	202,320
営業利益	43,950	19,705
営業外収益		
受取利息	7,613	5,277
受取配当金	1,897	1,973
受取賃貸料	135	75
その他	1,588	1,157
営業外収益合計	11,234	8,483
営業外費用		
支払利息	759	642
その他	119	145
営業外費用合計	879	787
経常利益	54,305	27,401
特別利益		
固定資産売却益	6,718	-
投資有価証券売却益	19	269
特別利益合計	6,738	269
特別損失		
投資有価証券売却損	5,519	-
投資有価証券評価損	-	6,140
特別損失合計	5,519	6,140
税引前四半期純利益	55,524	21,530
法人税等	4,895	9,867
四半期純利益	50,628	11,663

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。